

第73回国民体育大会

我らかく戦う

期日 平成30年9月9日（日）～17日（月）
会場 福井県、石川県

公益財団法人 北海道体育協会

我らかく戦う

第73回国民体育大会(会期前実施競技)

競技	種目/種別	評価	予想順位・得点	戦いの展望	有望選手・チーム	特記事項
水泳	競泳	3	個人3位、得点11点	チームが勢いに乗り、個人種目は勿論の事、リレー種目においても決勝進出を果たし二けたの得点獲得を目指して行きたい。	キング・アリシア(旭川実業高校) 高橋 美来(神奈川大学)	高橋美来: ジャパンオープン女子400m自由形 6位 400m自由形70・71・72回国体連続入賞
	AS	3		国体で初めてコンビを組むので、フレッシュさをアピールして元気よく泳がせて好印象で点に繋げる。		
	OWS	3		ランキング上位者が全員参加する大会、苦戦が予想されるが、連続3回出場の二人に上位入賞を期待する	蝦名愛梨(帯広大谷高等学校)	蝦名: ジャパンオープン7.5Km 7位、福井国体プレ大会3位 梅村歩・蝦名愛梨 3年連続出場
バレーボール (ビーチバレーボール)	男子	4	団体8位	競技経験からも予選グループでの敗退の可能性は無いと思われる。決勝トーナメントでの選手間同士のコミュニケーションや対戦チームの特徴を知り、試合内で勝つためのマネジメントが選手同士で共有できるかがポイントとなる。		
	女子	1		予選トーナメントで1勝することが目標。		
ハンドボール	成年男子	2	団体8位	若手の選手を中心に「守って走る」をモットーに1試合でも勝てるように、自分達の力をしっかりと出し切りたい。		
	成年女子	1	団体7位、得点18点	毎年、北海道成年女子は一回戦敗退が続いているので今年は一回戦突破を目指したい。		
	少年男子	2		初戦突破、インターハイでは男子は二回戦で敗退。 19チームの国体は、一つ勝利し、ベスト16～ベスト8となる。	蟹澤廣太、木村翔之介(札幌真栄高校) 吉松俊祐、奥崇大、高橋知也(札幌月寒高校)	木村は一年次より参加、3年連続出場 吉松、奥、高橋も2年連続出場
	少年女子	2	団体8位	小学校、中学校で全国大会を経験している選手が多く、この経験を生かして初戦突破を目指す。	小田光恵(函館工業)、笠谷真凜(市立函館)、 中山理子(帯広三条)	
クレー射撃	全種別	4	個人5位、得点22点	スキート種目は今回予選3位初出場の藤原の得点不足分を予選1位2位の田畑、佐藤の得点で補い入賞を狙う。トラップ種目は各選手の点数の積み重ねであり、各々最善を尽くした高得点による入賞を目指す。	田畑篤(HAP'1 釧路総合射撃場)	